

中広中学校だより

平成23年1月28日(金) NO. 16

校 訓 ・ ・ ・ 清 純 ・ 平 和 ・ 希 望

学校教育目標 ・ ・ ・ 「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」

広島市立中広中学校

頑張れ ・ ・ ・ 3年生！！！！

頑張ってますよ1・2年生！

1月の早月末、例年に無く「寒いですね」が出会いがしらの定番挨拶ことばになりつつあるこの頃ですが、学校ではこれからがいよいよ本番の入試シーズンに突入です。

3年生は2月2日(水)が公立高等学校の選抜I、私立高等学校の推薦入学試験です。2月7日(月)には結果発表とあわただし毎日が出てきます。15歳の春は、義務教育を終え、次ぎの進路を決定するという、人生の一つの「岐路」でもあります。インフルエンザや風邪をひかないで、全力投球で頑張ってください。

実は、1・2年生も頑張ってます。**1年生**は昨年11月8・9日に行った、ディスカバーマイタウンの報告発表会を体育館で26日(水)に行いました。事前のリハーサルを時間をかけてやっていた成果を見ることが出来ました。地域の事業所の方々もおいでいただき、参観していただきました。



(体育館での報告の様子 ↑)

発表の中に、萬国製針という会社への訪問報告がありました。実は、「中広」という町は、その歴史を紐解くと、全国に名高い針の有数な産地でした。歴史資料(広島市三篠郷土史)によれば、今をさかのぼること約290年前、長崎から広島の己斐村に南京針が伝え

られ、中国山地の砂鉄を原料に製作されたとされています。その後、日本は昭和2年には世界有数の製針国となり、特に広島は当時の全国生産額の90%を占めていたそうです。先の大戦後は一時衰退しましたが、戦後の復興で昭和30年には、実に広島は全国第1位の生産量を誇るまで復興しました。昭和45年ごろには広島市内の針工場24の内、8工場は三篠地区にありました。当時でも、全国で使われる縫い針とミシン針の3分の1は三篠地区で生産されていたのです。先の萬国製針さんもそのひとつなのです。中広中学校の学区には、世界に名だたる会社も多く、世界に羽ばたく人材が本校生徒はじめ、多くの先輩・後輩の皆さんから出てくるかも知れませんね。

2年生はというと、9事業所・官庁等から10名の方々においでいただきました。どの仕事も楽しい仕事はありません。つらいこと、しんどいことを乗り越えての現在のご様子を伺うことができました。警察からおいでいただいた方からは、お母さんから警察官になって欲しくないと言われながらも、この仕事を選んだこと、今も公開はしていないというお話、動物園からも飼育展示担当の方においでいただき、



日頃はうかがえない檻やフェンスの内側のお話を聞くことが出来ました。トリマーの連れてこられた犬のトイプードルは、まるでぬいぐるみが動いているといった可愛さでした。

1・2年生も間もなく、進級とともに進路決定が近くなるわけです。1年生で地域を学び、2年生で実際のお話を伺い、3年生で実際に体験することになります。各ご家庭におかれましても、こうした

裏面に続く ⇒

機会を話のきっかけとして、子どもたちに自らのご経験や、現在のお仕事の一端でも話してもらえれば、より効果的な学習となることと思います。(写真はお話の様子です)

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

先に実施いたしましたアンケートの集計ができましたので、紹介します。今回は、家庭学習についてです。

家庭学習の時間は生徒アンケート、保護者アンケートともに増加しました。3年生の家庭学習時間は例年12月には増加する傾向がはっきりと見られていましたが、今年度は1・2年生も増加しています。

昨年度は塾の学習時間は含まないものとしてアンケートをとったので単純に比較することはできませんが、保護者アンケートからは、「宿題として出された課題に、お子さまはきちんと取り組まれていますか。」の質問に肯定的な答の割合は7月:68%→12月:75%と変化しています。

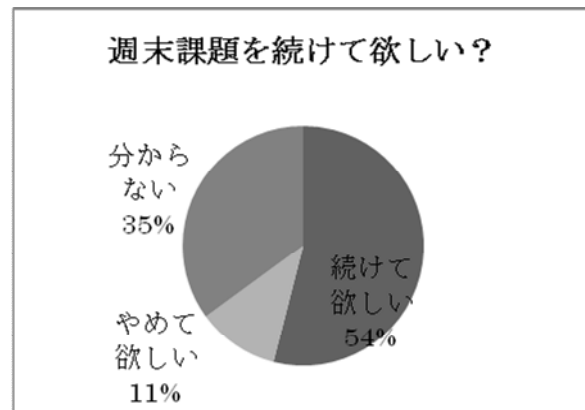
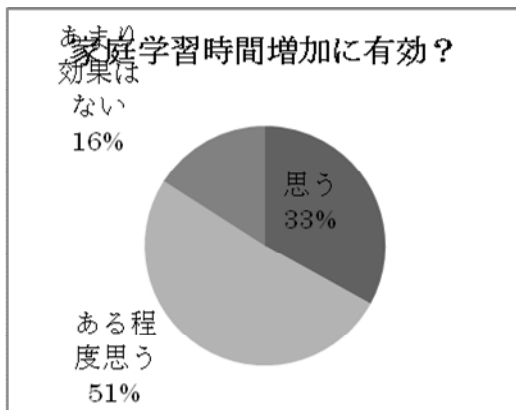
あわせて、保護者回答の「お子さまの1日の家庭学習の平均時間」(塾を含まない)で2時間以上の割合も7月:21%→12月:29%と上昇しています。学年別に見ると、3学年が大きく上昇し、ほかの学年は変化なしか微増でした。要因として考えられるのは①「10時間勉強」、②「週末課題」の取り組みと考えられます。

①「10時間勉強」は特に家庭学習に対する意欲を高め、同時に保護者にも家庭学習時間に目を向けていただくきっかけになったのではないかと思います。

②「週末課題」は7月から12月の教員アンケートをみても実施率が上がっています。宿題の量が増えたことで家庭学習時間が増加したと考えられます。2学年で独自に調査した週末課題に関するアンケート(下グラフ)でも、「週末課題は学習時間を増やすために効果があると思うか」「週末課題の取り組みを続けてほしいか」の質問に対しての解答は下のような割合でした。このアンケートからも週末課題の効果がある程度あったことがわかります。

1日2時間以上家庭学習をしている (生徒アンケート)				
	H21年度		H22年度	
	7月	12月	7月	12月
1年	40%	21%	27%	36%
2年	27%	15%	33%	36%
3年	19%	41%	37%	54%

週末課題実施率 (教員アンケート)		
	7月	12月
全体	46%	76%
1年	33%	88%
2年	50%	86%
3年	38%	63%



一方で、生徒アンケートの「宿題として出された課題にきちんと取り組んでいますか」の質問に肯定的な答の割合は3年生では7月:80%→12月:89%と上がっていますが、1年生は-12%、2年生は-3%と減少しています。量的に増えた宿題に十分対応できないケースがあることが考えられます。

お知らせ

☆ インフルエンザに要注意

本校では、現在のところ、インフルエンザの感染に拡大の兆候は見られません。しかしながら、油断は禁物です。特に天気予報によれば、今後1～2週間は冬型の気圧配置が続き、気温も低い状況が続くことが予想されています。ウイルスは乾燥が大好きです。加湿器などがなくても、水に濡らした雑巾やタオルを部屋に置いておくだけでも、湿度は高くなります。要は、工夫と意識です。転ばぬ先の杖です。流行が宣言されてから後の2～3週間目に例年、患者・感染者のピークが来ます。ここ2週間は十分気をつけて下さい。

☆ 明日は校長談話室を開きます

明日の1月29日（土）10：00～11：30に今年最初の校長談話室を開催します。時間がありましたら、気軽に校長室をお尋ね下さい、お待ちしております。

